

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する。



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝
埼玉県草加市稲荷5丁目



試験名称	床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84-9
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：クリ筋かいストッパー IIKSP II 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と柱との止め付け部に使用する金物 取付位置：横架材から下へ160mm及び横架材から上へ188mmの位置で壁体内に設置 取付方法：筋かい金物の内側に筋かいを設置して緊結（図-1参照） 寸法：110×35×116mm, 厚さ2.3mm（図-3参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302)</p> <p>2. 接合具 木ねじ：クリ皿ビス5.5×45, 筋かい側7本使用, 柱側8本使用 長さ：45mm, ねじ部の長さ：38mm, ねじ部の外径：5.5mm 谷の径：3.4mm, ねじ山のピッチ：3.1mm, ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH18A (JIS G 3507-2) 表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用軸組等（耐力壁の長さ0.91m, 高さ2.73m） 梁：べいまつ, 105×180mm 土台及び柱：すぎ, 105×105mm 間柱：すぎ, 30×105mm 筋かい：べいつが, 45×90mm 床合板：構造用合板（JAS特類2級）, 厚さ28mm</p> <p>4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	<p>1mあたりの基準せん断耐力：3.6kN, 終局変形角γ_uの平均値：1/15rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-5 荷重-せん断変位包絡線, 変形角曲線及び変位曲線等：図-6～図-12 破壊状況：写真-1～写真-4</p>
備考	<p>当該試験結果から, 厚さ28mmの床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁は, 木造軸組工法住宅の許容応力度設計の2章の2.1「筋かい端部の仕口」による1mあたりの基準せん断耐力は2.94kN以上（筋かい断面45×90mm）, かつ, 終局変形角γ_uは1/30rad以上であることが明らかとなったため, 平成12年告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。</p>
試験期間	平成19年 5月21日 ~ 22日
担当者	<p>構造グループ 試験監督者 川上 啓 修 試験責任者 室 星 一 試験実施者 渡辺 慶 和 高橋 博 太 小 山 由</p>
試験場所	中央試験所